

追悼・濱里忠宜先生を偲んで



鹿児島純心女子短期大学最終講義 (H. 23. 3. 16)

濱里忠宜先生を偲んで

河 野 一 典

「江角学びの交流センター」初代センター長である濱里忠宜先生は、平成25年11月13日、逝去されました。先生は平成21年4月、諸機関を統合した当センターの創設にあたって、前年度より構想を温めセンター及び本誌の名付け親ともなられました。当センターは先生のご逝去を深く悲しみ哀悼と感謝の意を表すために、ささやかながらここに、ご存命中の年譜と主要業績を振り返るとともに長年本学で講義された「人間学」の講義録を掲載することにいたしました。先生の温かい人間観よすがに触れてこられた方々にとって、先生への学恩に謝する縁となれば幸いです。

先生の哲学の原体験に数々の悲哀があったことは疑いぬことです。その根底には幼いころから刻まれてきた悲しい体験があります。先生の筆は、避けられない悲しみの非条理—不合理や矛盾とか不条理とかではなくあえて非条理という言葉が使われています—という言語を絶する世界に生きていることを真摯に受けとめ体現したご自身の人生観・情念の世界を知性に表出する作業です。「これは学術的にはどうなのか」とはにかみながら問われたことも思い出しますが、まさに「哲学する」行為を前に返す言葉はありませんでした。

先生は確かに実践の人でした。「進むために別れねばならない」（「最終講義」）という毅然とした言葉の裏側には、別れを深く胸に刻まれ、過去の哀しみを愛しみ、未来は過去の良き所産であらねばならぬと決意し前進する、穏健で優しいペシミストの一面が現れています。

病床の濱里先生をお訪ねするといつも、筆と原稿をベッドの傍らに置かれ、次の著書—当センターの「にんげん文庫」として出版することを

想林第5号

楽しみにしておられました一の推敲を重ねているご様子でした。寸暇を惜しみ横になりながら、しまい口述筆記まで頼まれて励んでおられるお姿に「今は無理をなさらずお身体の方を早くお治してください」と申し上げてきましたが、尽きることなく生まれ出る言葉をこれでもなくあれでもなく、楽しそうに探し続けておられるようでした。

先生は本誌の「創刊の辞」で、「知縁」が新しい時代の「地縁」の広がりになるように、不遜かもしれないが一步進めて新しい歴史を刻もうとするものである旨を記されています。途絶えることのない会葬の列に、「知縁」と「地縁」を大切に育まれた先生の人生の航跡を見るようでした。きっと今も続けておられるだろう先生の遠い旅路が安らかなことを祈らずにはられませんでした。

(鹿児島純心女子短期大学教授)

なお、以下の略年譜・主要業績・社会活動一覧については、ご遺族をはじめ鹿児島純心女子学園および関係諸団体のご協力を得ました。ここに記して感謝申し上げます。

■ 略年譜

- 昭和6(1931)年 4月28日、現薩摩川内市下甌町手打にて生
- 昭和19(1944)年4月 旧制鹿児島県立鹿児島第一中学校入学
- 昭和25(1950)年3月 鹿児島県立鶴丸高等学校卒業
- 昭和25(1950)年4月 京都大学文学部入学
- 昭和30(1955)年3月 京都大学文学部哲学科(哲学専攻)卒業
- 昭和30(1955)年4月 鹿児島県立種子島高等学校 教諭
- 昭和33(1958)年4月 鹿児島県立串木野高等学校 教諭
- 昭和38(1963)年4月 鹿児島県教育庁社会教育課 社会教育主事
- 昭和41(1966)年4月 鹿児島県立鶴丸高等学校 教諭
- 昭和44(1969)年4月 鹿児島県教育センター 研究主事
- 昭和49(1974)年4月 鹿児島県教育委員会学校教育課 主任指導主事
- 昭和50(1975)年4月 鹿児島県教育委員会社会教育課 専門員(課長級
専門職)
- 昭和53(1978)年4月 鹿児島県教育委員会伊佐教育事務所 所長
- 昭和55(1980)年4月 鹿児島県教育委員会社会教育課 課長
- 昭和58(1983)年4月 鹿児島県教育委員会 教育次長
- 昭和58(1983)年8月 鹿児島県教育センター所長兼務(昭和59年4月
まで)
- 昭和60(1985)年4月 鹿児島県立鶴丸高等学校 校長
- 昭和62(1987)年4月 鹿児島県教育委員会 教育長
- 平成2(1990)年3月 定年退職
- 平成2(1990)年4月 鹿児島県総合教育センター 所長(非常勤)(平成
4年3月まで)
- 平成4(1992)年4月 鹿児島純心女子短期大学 生活学科教授就任
- 平成5(1993)年4月 鹿児島純心女子短期大学 図書館長(平成6年3
月まで)
- 平成6(1994)年4月 鹿児島純心女子短期大学 副学長(平成21年3月
まで)
- 平成9(1997)年4月 同生涯学習研究センター 所長(平成13年3月ま
で)

想林第5号

平成14(2002)年 4月	鹿児島純心女子大学 副学長(兼任・平成16年3月まで) 鹿児島純心女子大学 国際人間学部教授(平成21年3月まで)
平成14(2002)年 5月	学校法人鹿児島純心女子学園 理事(平成23年3月まで)
平成16(2004)年 4月	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科教授(平成21年3月まで)
平成21(2009)年 4月	鹿児島純心女子短期大学特任教授就任
平成23(2011)年 3月	鹿児島純心女子短期大学特任教授退任・最終講義
平成25(2013)年	11月13日、鹿児島市にて逝去(享年83)

■ 主要業績

(著書)

1. 『樟南序章』(丸山学芸図書) 昭和59年3月
2. 『教育と人間と』(鹿児島県連合校長協会・鹿児島県教育広報研究会) 昭和62年11月
3. 『若き旅人たちへ』(講談社) 昭和62年12月
4. 『心の風景』(講談社) 平成6年4月
5. 『旅人燈』(南日本新聞社) 平成14年9月
6. 『遠い宴』(ふどうの木出版) 平成17年3月
7. 『斜光の風景』(高城書房・鹿児島純心女子短期大学にんげん文庫) 平成21年3月
8. 講演集『遠い航跡』(南方新社) 平成25年5月

(学術論文)

1. 「生涯教育からみた道徳的価値の原理的研究」(共著)『文部省科学研究費研究論文』昭和48年度版 昭和48年3月
2. 「生命の秘儀」全国日本学士会『Academia』第158号 平成2年8月

濱里忠宜先生を偲んで

3. 「いのちの視座」日本家庭科教育学会『日本家庭科教育学会誌』35巻3号 平成4年12月
4. 「非条理の風景」鹿児島県立図書館『芸香草』第13集 平成6年2月
5. 「人生論としての厭世主義」『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第25号 平成7年3月
6. 「カトリック学校の役割の再発見—地域社会から見たカトリックの教育」日本カトリック教育学会『カトリック教育研究』12号 平成7年8月
7. 「『菜根譚』残日録の視点—その大衆性と倫理性」『中国関係論説資料』第38号平成9年12月
8. 「椋鳩十の道化」椋鳩十文学記念館『紀要』第3号 平成10年3月
9. 「椋鳩十の諧謔性—その童心と演戯—」鹿児島純心女子短期大学地域人間科学研究所『地域・人間・科学』第2号 平成10年3月
10. 「ことばの力」俳句雑誌『湾』第31巻第2号・通巻第303号 平成13年2月
11. 「ペシミズムの逆説」鹿児島純心女子大学大学院研究紀要・創刊号 平成18年3月
12. 「生の非条理」鹿児島純心女子短期大学・地域人間科学研究所紀要『想林』創刊号（通算14号） 平成21年3月

(エッセイ・コラム)

『内外教育』（時事通信社）巻頭言「わが不器用派たち」昭和63年11月～
「父の詫び状」平成25年10月、他数十編にわたる。

■ 社会活動等

(大学等非常勤講師)

鹿児島短期大学非常勤講師（社会科教育法）S.47.4～S.49.3

鹿児島純心女子短期大学非常勤講師（道德教育の研究）S.59.7

鹿児島経済大学（現鹿児島国際大学）非常勤講師（社会教育行政）S.61.7
～S.61.9

想林第5号

鹿児島短期大学非常勤講師（教育原理）H.2.9～ H.3.3

鹿児島純心女子短期大学非常勤講師（哲学）H.3.4～ H.4.3

鹿児島純心女子大学・大学院非常勤講師（哲学の人間学特論）H.21.4～
H.23.3

学校法人赤塚学園タラ看護専門学校非常勤講師（哲学）H.24.4～ H.25.6

（委員等）

昭和49年9月 文部省・第2回海外派遣研修（米国）（昭和49年10月まで）

昭和60年4月 九州高等学校野球連盟理事、鹿児島県高等学校野球連盟会長（昭和63年3月まで）

鹿児島県芸術文化奨励賞選考委員（昭和62年3月まで）
南日本新聞・九州電力お茶の間エッセー審査委員・審査委員長（平成23年3月まで）

昭和61年4月 日本教育会鹿児島支部長（昭和62年3月まで）
全国高等学校長協会理事、鹿児島県連合校長協会会長（昭和62年3月まで）

鹿児島県高等学校長協会理事（昭和62年3月まで）
鹿児島県文化芸術振興会議委員・副会長（昭和62年3月まで）

昭和62年4月 南日本文化賞選考委員、MBC賞選考委員（平成2年3月まで）

南日本放送番組審議会議員・同副委員長（平成12年3月まで）

国立大隈少年自然の家運営委員（平成2年3月まで）

昭和62年9月 第4回シンガポール・鹿児島交流会議Workshop on Sport & Culture代表（昭和63年3月まで）

昭和62年11月 文部省・海外日本人学校教育視察（ソウル・香港・クアラルンプール・コタキナバル日本人学校）（昭和62年11月まで）

昭和63年1月 文部省・青少年の学校外活動に関する調査研究協力者会議委員（平成4年3月まで）

濱里忠宜先生を偲んで

- 昭和63年9月 第6回香港・鹿児島交流会議Workshop on Sport & Culture代表(平成元年3月まで)
- 平成元年9月 第5回シンガポール・鹿児島交流会議Workshop on Sport & Culture代表(平成2年3月まで)
- 平成4年6月 日本宇宙少年団鹿児島地方本部長(平成15年4月まで)
- 平成5年1月 社団法人茶道裏千家淡交会学校茶道連絡協議会顧問(平成25年11月まで)
- 平成5年6月 鹿児島市立図書館協議会会長(平成17年3月まで)
- 平成7年1月 公益財団法人興南アジア国際奨学財団評議員(平成25年11月まで)
- 平成7年6月 公益財団法人示現流東郷財団評議員(平成25年11月まで)
- 平成8年4月 鹿児島文化振興会議委員・副会長再任(平成14年4月まで)
- 鹿児島県文化財保護審議会委員(平成20年3月まで)
- 鹿児島県芸術文化奨励賞選考委員再任(平成16年9月まで)
- 平成8年10月 鹿児島市生涯学習推進会議委員(平成14年10月まで)
- 平成9年2月 (財)鹿児島市教育施設管理公社(現公益財団法人かごしま教育文化振興財団)理事(平成25年3月まで)
- 平成9年6月 公益財団法人MBC晶中文化基金理事(平成25年6月まで)
- 平成14年5月 鹿児島文化振興会議会長(平成17年5月まで)
- 平成17年6月 鹿児島県文化芸術振興審議会会長(平成25年3月まで)
- 平成18年5月 公益財団法人鹿児島奨学会理事(平成25年5月まで)

(表彰)

- 平成10年11月 文部大臣地方教育行政功労者表彰(教育委員会制度50周年記念)
- 平成19年11月 叙勲・瑞宝小授章
- 平成22年10月 文部科学大臣短期大学教育功労者表彰